

大和郡山病院地域協議会（平成28年度第2回）

開催日時 平成29年3月9日（木）17:00～18:00

場所 大和郡山病院 3階講義室

議題 1.小児科の診療状況
2.意見交換会

出席者 院内委員

寫原康行（院長）、松村正彦（副院長）、北大路正顕（副院長）、藤村和代（副院長）、徳田寛（事務長）、安富恵美子（看護部長）、前川紋子（副看護部長）、藤崎栄子（訪問看護ステーション看護師長）、今中俊之（総務企画課長）、釜石千恵（経理課長）、砂原直美（主任医療社会事業専門員）

外部委員

田北武彦（大和郡山市医師会会長）、大野忠彦（大和郡山市歯科医師会会長）、小山博司（大和郡山市薬剤師会会長）、上田亮（大和郡山市福祉健康づくり部部长）、釜谷宗宏（大和郡山市地域包括支援センター所長）、森川百合子（大和郡山市医師会訪問看護ステーションやすらぎ管理者）、野田和世（患者・患者家族代表）

順不同、敬称略

司会（総務企画課長）

- ・平成28年度第2回JCHO大和郡山病院 地域協議会 開催について
- ・本日の委員の出席状況報告

開催の挨拶（寫原院長）

多忙の折、お集まりいただき感謝申し上げます。年複数回の開催で忌憚のないご意見をいただき運営に反映させ、地域医療機能推進機構として職員一同頑張っていきたい。

また、年度末をもって病院長を退任する。後任として、4月より松村副院長が院長に就任するので引き続きよろしく申し上げます。

委員紹介

当院から松村副院長が新しく就任。あらためて院内、院外委員の紹介を行った。

議題1（病院紹介）

松村副院長から、当院小児科の診療状況についての紹介。

議題2（意見交換）

寫原議長

当院は、急性期医療に取り組んできたが、全ての人が必要な時に必要な看護を受けられるように慢性期疾患にも対応すべく訪問看護ステーションの開設、認定看護師を中心とした在宅支援の推進、地域包括ケア病棟の立ち上げを行った。今後ももちろん急性期医療は取り組んでいく。それらをふまえご意見をいただきたい。

大野歯科医師会長

地域ケア実務者研修会において、癌患者等の術後口腔ケアの取り組み状況の意見交換があった時に、貴院においては一部取り組みができていない発言があった。実際は医師会からの派遣を含め取り組んでいたと思われるが如何な状況か？

藤村副院長

事業を始める前から市の歯科医師会からも往診に来ていただき、取り組んでいただいている。また、県の事業にもとづき奈良県歯科医師会からも口腔ケアに訪問していただいている。しかしながら、大きなテーマの一つであるがん患者に対する口腔ケアの症例は少数であることから今後、増大していきたい。

田北医師会長

市医師会として地域包括ケアシステムを構築する。MCS(メディカルケアステーション)という医師中心の情報共有システムをスタートさせる予定である。

当面は診療所中心であり、段階的に病院が参入していく予定である。

寫原議長

病診連携としての機能を維持するため推進していただきたい。

当院からも説明会に参加したが、訪問看護ステーションとも連携できればと思われる。

大野歯科医師会長

口腔ケアにおいて誤嚥性肺炎が注目している。勉強会にも参加させていただき取り組みたい。摂食できることが第一と考えている。

寫原議長、安富看護部長

当院においても言語聴覚士を採用予定であり嚥下訓練にも取り組めると考える。常勤呼吸器内科医師も着任予定である。

小山薬剤師会長

特定健診の受診アップに取り組む予定であり、糖尿病予防に着目し、食後血糖測定を提供予定である。

上田健康づくり部部长

少子化対策として一般不妊治療の助成金について予算通過見込まれるので、医療機関においてはご協力願いたい。

釜谷地域包括支援センター所長

地域包括ケアの推進に向けて、各事業所の協力、会合をもって今後具体的な事業展開を進めていく。取り組みの一つとして入退院調整を行っていく必要があり、看護師、連携室の担当者と進めていきたいので協力願いたい。

前川副看護部長、砂原主任医療社会事業専門員

当院は地域連携室に兼務しており、病棟師長が入院のスムーズな受け入れを行えるよう専用 PHS を携帯しており、退院調整も MSW が対応している。地域のケアマネとも入院時から退院に向けた情報共有を行っているが、さらに発展させるために市内のルール作りをしていきたい。

森川訪問看護ステーションやすらぎ管理者

訪問看護ステーションのメンバーと医師会往診医との情報交換を行った。連絡会を立ち上げることができ、顔の見える関係を築き、協力しつつ在宅医療を発展させたい。

藤崎看護師長

ステーションで預かっている患者は地域包括支援センター、薬剤師会、ケアマネ等々と連携して支えていただいていると認識している。在宅患者に対しても誤嚥性肺炎を予防できるよう取り組みたいので、地域行政の取り組みにも積極的に参加して連携していきたい。特定行為研修を修了した後は手順書を作成して貢献していきたい。

野田患者・患者家族代表

高齢者の医療、少子化への取り組み等々いろいろ広報していただき発展させていただきたい。

徳田事務部長

地域協議会は26年度から開催しているが、委員においては任期満了となるので再任のため依頼をした場合、よろしく願いしたい。

安富看護部長

退任となりますが、地域協議会において貴重な意見交換が出来て良かったと思います。

後任は京都の鞍馬口医療センターから着任するのでよろしくお願いします。

(閉会挨拶)

北大路副院長

多忙の中、お集まりいただきありがとうございました。規程により次年度も年に複数回の開催をしていく予定であるのよろしくお願いします。

本日はありがとうございました。

以上をもって平成28年度第2回大和郡山病院地域協議会を終了した。